

行事などの取組みを通して成長しよう

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

今、6月1日(日)の運動会に向けて、どの学年も一生懸命練習しています。特に、団体演技の練習は、1年生から6年生それぞれの学年が、早い時期から計画し、練習に取り組んでいます。運動会の練習の中でも、時間をかけて一生懸命練習しています。練習の中では、うまくいくこと、自分のイメージ通りに思うようにできないことなど、さまざまな経験をします。子どもたちは、担任をはじめとする教職員の支援で、今よりも少しでも上達できるよう努力しています。この練習の過程がとても大切です。運動会当日、成功させるために練習しているのはもちろんですが、当日の結果が最優先ではありません。子どもたちがどんな気持ちで練習し、努力し、まわりの子どもたちと協力したり、支え合ったりしたか、その経験そのものがとても大切です。練習や取組みの過程そのものが、子どもたちの成長につながります。また、5年生と6年生の子どもたちは、運動会の係の活動を行い、自分たちで運動会を作り上げる意識をもって取り組んでいます。この経験もとても重要です。引き続き運動会に向けて、子どもたちを支援していきます。そして、子どもたちのがんばりを支えていただいているご家庭に感謝いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



みんなが主役です。最高の運動会にしましょう。

今年のめあては、
「全力を出し切って みんなで協力し合って 絆を深めよう」 です。

練習が始まった頃は、まだまだ集中できないこともありましたが、毎日練習しているうちに、子どもたちの意識は、「今よりもなりたい。」「がんばっている姿を見てもらいたい。」となり、少しずつ良い演技になってきました。運動会当日、どんな演技を見せてくれるか、楽しみにしててください。子どもたちの笑顔をしっかり見てください。



(お願い) 運動会当日の電話対応
は、午後4時以降、音声ガイダンス
による対応とさせていただきます。

《 1年公園めぐり 》

東山小学校の校区にある公園めぐりとして、中央公園、ふれあい公園(ロケット公園)を巡りました。子どもたちは、友だちといろいろな話をしながら歩いていきました。



《 交通安全教室 》

1年生と3年生対象の交通安全教室が開催されました。貝塚警察の方や市役所の方が、運動場に設置した信号機や、白線で書かれた横断歩道を使って、安全な歩き方、自転車の乗り方や横断歩道の渡り方について、一人ひとり、教えてくれました。子どもたちの命を守る大切な時間となりました。



《 集団下校訓練 》

大雨のシーズン前に、集団下校訓練を行いました。地震、台風等で急な下校が必要となる場合があります。子どもたちが落ち着いて行動できるよう、訓練を行いました。下校色別のグループと「なかよし」に行くグループに分かれ、先生が付き添って下校しました。



《 ヤングケアラーとは…? 》

「ヤングケアラー」という言葉を最近よく聞くようになりましたが、皆さんはご存知ですか? 「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケアの責任を子どもが引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことを言います。

厚生労働省と文部科学省が令和2年12月から令和3年1月に行った実態調査の結果、中学生のおよそ17人に1人が「ヤングケアラー」にあたることがわかりました。驚いたことに、自分の状況について、「誰かに相談するほどの悩みではないから」と考えて、相談した経験がない生徒が6割を超えていました。

わたしたちの身近にも、「ヤングケアラー」であることを自覚せずに暮らしている子どもたちがいるかも知れません。「ヤングケアラー」について正しく理解し、誰かに相談したり助けを求めたりしてもいい状況であるということを認識することが大切です。学校でも、子どもたちから発せられるSOSのサインを見落とさないように注意を払っていきます。



お子さんのことで、気になることがあったときの校内の相談窓口を紹介します。

相談
窓
口

- 特別支援教育関係の窓口 千畑
- ハラスメント関係の窓口 校長・教頭・養護教諭
- ※窓口担当に直接相談しにくいときは、まずは、担任など保護者の皆様が信頼できる教職員に、相談してください。校内で連携をとり、情報共有を行います。
- ※第三中学校のスクールカウンセラーの九十九(つくも)綾子先生や本校スクールカウンセラーの北山徹也先生にも相談できます。予約の調整をしますので、ご希望のある方は、本校生活指導担当の中山までご連絡ください。

登校の見守りや下校時の見守りで、校門や玄関の付近で子どもたちにあいさつをしています。自分からあいさつしてくれる子どもが増えました。また、自分のことについての話をしてくれる子もいます。たくさん話をしていきたいと思っています。